



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 高千穂交易株式会社

上場取引所 東

コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営システム本部長 (氏名) 広木 邦昭

TEL 03-3355-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,711	△17.0	87	△48.3	82	△57.7	17	△78.7
23年3月期第1四半期	4,469	12.8	170	—	194	—	82	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 26百万円 (△20.2%) 23年3月期第1四半期 33百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.73	—
23年3月期第1四半期	8.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,468	13,480	77.1
23年3月期	17,321	13,571	78.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 13,465百万円 23年3月期 13,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	△12.3	250	△30.2	260	△36.5	140	△37.3	13.84
通期	17,000	△6.6	680	△17.4	700	△23.8	390	△7.0	38.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) Takachiho Fire, Security & Services (Thailand) Ltd. 、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	10,140,300 株	23年3月期	10,140,300 株
24年3月期1Q	26,233 株	23年3月期	26,233 株
24年3月期1Q	10,114,067 株	23年3月期1Q	10,114,086 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 2
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) セグメント情報等	P. 7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 補足情報	P. 8
販売実績	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災に伴う生産・輸出の大幅な減少や、依然として低水準が続いている雇用・所得環境の影響などにより厳しい状況が続いていますが、足元ではサプライチェーンの立て直しが進んでいるなど、徐々に回復の兆しが窺われます。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、新たな成長を見据えて、「強固な収益基盤の実現と成長戦略の確実な実行」を今年度の基本方針に掲げ、独自の付加価値をより一層強化し、収益性の向上を図るほか、アジアを中心とした成長市場に積極的に進出し、グローバルビジネスの本格展開を進めております。

具体的には、システムセグメントでは、新規市場への商品監視システムの拡販を進めるほか、関連機器及びサービスの販売や、中国・東南アジア市場へのビジネス展開をより一層強化しております。他方、デバイスセグメントでは、新たな商権・商材の獲得や、FAE(フィールド・アプリケーション・エンジニア)による技術提案を通じて、特定分野へ特長ある商品の販売に注力しております。また、当社オリジナル機構部品の販路を、アジアを中心に海外へと拡げ、グローバルブランドとしての地位獲得にも邁進しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、電子商品類における主要代理店との販売代理店契約解消の影響により、全体でも減収計画でスタートした中で、震災に伴う電機メーカーの生産減少などを受け、デバイスセグメントが振るわず、売上高は前年同期比17.0%減の37億11百万円となりました。

損益につきましては、売上総利益率の改善等が進んだものの、減収の影響が大きく、営業利益は前年同期比48.3%減の87百万円、経常利益は前年同期比57.7%減の82百万円、四半期純利益は前年同期比78.7%減の17百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比10.3%増の12億26百万円、営業利益は2百万円(黒字転化)となりました。

セキュリティ商品類では、外資系企業を中心にオフィス向け投資が抑制されたことを受け、入退室管理システムの導入が低調に推移しましたが、GMS(総合スーパーマーケット)市場において商品監視システムの導入が進んだことなどから、売上高は前年同期比2.1%増の9億59百万円となりました。

メーリング商品類では、主力のメールインサーティング・システムの大型案件を獲得したことなどから、売上高は前年同期比56.1%増の1億51百万円となりました。

その他商品類では、BCP(事業継続計画)整備を目的としたオフィスやデータセンター分散化の動きを受け、ネットワークセキュリティ関連商品の販売が好調に推移したことなどから、売上高は前年同期比53.9%増の1億16百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比31.3%減の19億68百万円、営業利益は前年同期比76.3%減の40百万円となりました。

電子商品類では、重点戦略の一つとして位置づけている「新商権・商品獲得」の成果として、新たなサプライヤーとの代理店契約を締結し、販売を開始しましたが、当第1四半期連結累計期間においては主だった成果には繋がらず、売上高は前年同期比42.9%減の11億14百万円となりました。

産機商品類では、前年度立ち上がった遊技市場向け機構部品の販売が好調に推移しましたが、部材の供給制約に伴う顧客メーカーの生産停滞を受けて、主力のATM(現金自動預け払い機)向け機構部品の販売が低調に推移したことなどから、売上高は前年同期比6.4%減の8億53百万円となりました。

(カスタム・サービスセグメント)

カスタム・サービスセグメントは、システム機器の納入設置案件が増加したことなどから、売上高は前年同期比5.1%増の5億16百万円、営業利益は前年同期比111.1%増の52百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1億47百万円増加し、174億68百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が8億78百万円減少した一方で、現金及び預金5億89百万円、商品及び製品78百万円、半成工事1億69百万円、のれんが53百万円増加したことなどによるものです。他方、負債は、前連結会計年度末と比べ2億37百万円増加し、39億87百万円となりました。これは未払法人税等1億33百万円、賞与引当金が1億35百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が4億9百万円増加したことなどによるものです。純資産は、134億80百万円となり、自己資本比率は77.1%となりました。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、Takachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd.(旧商号:Tyco Fire, Security & Services(Thailand)Ltd.)の株式を新規取得したことにより、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,742	7,332
受取手形及び売掛金	5,282	4,403
有価証券	500	500
商品及び製品	2,094	2,173
半成工事	—	169
その他	340	304
貸倒引当金	△10	△13
流動資産合計	14,949	14,869
固定資産		
有形固定資産	511	513
無形固定資産		
のれん	—	53
その他	133	134
無形固定資産合計	133	187
投資その他の資産		
投資有価証券	1,026	1,023
その他	718	893
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	1,726	1,898
固定資産合計	2,371	2,599
資産合計	17,321	17,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,830	2,239
未払法人税等	165	31
賞与引当金	288	153
役員賞与引当金	13	5
その他	556	653
流動負債合計	2,855	3,083
固定負債		
退職給付引当金	717	727
役員退職慰労引当金	4	5
その他	171	171
固定負債合計	894	904
負債合計	3,749	3,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,193	1,193
資本剰余金	1,156	1,156
利益剰余金	11,255	11,151
自己株式	△18	△18
株主資本合計	13,587	13,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	57
為替換算調整勘定	△69	△75
その他の包括利益累計額合計	△26	△17
新株予約権	10	12
少数株主持分	—	2
純資産合計	13,571	13,480
負債純資産合計	17,321	17,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,469	3,711
売上原価	3,340	2,689
売上総利益	1,128	1,022
販売費及び一般管理費	958	934
営業利益	170	87
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	5	6
受取保険金	0	—
為替差益	12	—
その他	4	2
営業外収益合計	24	10
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	15
その他	0	0
営業外費用合計	0	16
経常利益	194	82
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産除却損	12	—
固定資産売却損	2	—
投資有価証券評価損	—	24
事務所移転費用	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11	—
特別損失合計	27	24
税金等調整前四半期純利益	171	58
法人税、住民税及び事業税	12	19
法人税等調整額	76	21
法人税等合計	88	40
少数株主損益調整前四半期純利益	82	17
少数株主損失(△)	—	△0
四半期純利益	82	17

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	82	17
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△50	14
為替換算調整勘定	1	△5
その他の包括利益合計	△49	9
四半期包括利益	33	26
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33	26
少数株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システム	デバイス	カスタマ・サービス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,112	2,865	491	4,469	—	4,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,112	2,865	491	4,469	—	4,469
セグメント利益又は損(△)	△18	168	24	175	△4	170

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4百万円には、連結調整額1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システム	デバイス	カスタマ・サービス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,226	1,968	516	3,711	—	3,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,226	1,968	516	3,711	—	3,711
セグメント利益	2	40	52	94	△6	87

(注) 1. セグメント利益の調整額△6百万円には、連結調整額△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「システム」セグメントにおいて、Takachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd. (旧商号：Tyco Fire, Security & Services(Thailand) Ltd.) の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は53百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売実績

(単位：百万円)

区 分	前四半期 (平成23年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成24年3月期 第1四半期)
セキュリティ商品類	939	959
メーリング商品類	96	151
その他商品類	75	116
システム 計	1,112	1,226
電子商品類	1,953	1,114
産機商品類	911	853
デバイス 計	2,865	1,968
カスタマ・サービス 計	491	516
計	4,469	3,711

(注) 前連結会計年度において「その他商品類」に含めて表示しておりました入退室管理システムの販売実績は、当第1四半期より「セキュリティ商品類」に含めて表示しております。なお、前四半期の販売実績は当四半期の商品類区分で表示しております。